

道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成30年6月4日(第9号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 学校評議員のご紹介 ◆◆

《学校評議員制度とは、学校・家庭・地域が一体となって子どもの健やかな成長を担っていくために、地域に開かれた学校づくりを推進する観点から設置するものです。》

学校が、地域の方々の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して子どもたちの健やかな成長を図るために、学校の方針や生徒の様子等を周知・説明する責任を果たすために、評議員様方に活動をお願いしています。年2回の地域との教育懇話会および、年3回の学校関係者評価委員会での学校評価作成に協力いただくなど、年5回の評議員会をお願いしています。また、適宜、学校行事等にお越しいただき、本校の教育活動、家庭・地域との連携などについてご意見をいただいております。今年度は以下の4名にお引き受けいただき、本校の教育活動にご助言をいただいております。

様

様

様

様

◆◆ 1年生にとっては初めての、定期試験がありました。 ◆◆



5月31日、6月1日の2日間、成績の根拠の一つになる定期試験がありました。2・3年生にとっては、進路資料に反映されることから重要です。また、1年生にとっては、小学校以上に重みのある、学校をあげて2日間も集中的に取り組む定期試験は初めての経験だったはずですが。

国語の試験問題などに、新しい作問の工夫が感じられました。しかし、全般的には、知識の定着を確認する問題が多い傾向はまだあります。これらについても校内研究などを通し、やがて思考力・判断力を求める問題が工夫されるようになることと思います。

◆◆ 生徒の皆さん、心身のバランスは保っていますか？ ◆◆

先日、上記の中間試験が終わりました。試験期間中は部活動も休みで、いつもより遅い時間の登校・早い時間の下校となりました。良い休養期間になった人もいるかとは思いますが、試験自体のプレッシャー等を感じてきた生徒も多かったのではと思います。一方、新学期が始まり、2ヵ月が過ぎました。勉強や部活動、そして体育祭に取り組んできた様子を見させてもらいました。学校としては大きな成果を上げた体育祭が、プレッシャーになっていた場合も人によってはあったと思います。

南郷中学校で生活していくにあたって皆さんは、勉強のこと、進路の事、部活動のこと、友達のこと、家族のことなど、いろいろ思い悩むこともあるでしょう。そのようなときには、一人で悩みを抱え込まずに、部活動顧問、養護教諭などの先生や、ハートのポケット相談員、スクールカウンセラー、家族など、周囲の人に相談してください。特に、ハートのポケットの相談員さん、スクールカウンセラーのさんからは、「悩みじゃなくても、おしゃべりでもいいですよ。是非お話しをしに来て。」と、お便り（ハートのポケットからのお知らせ）が先日発行されました。是非読んでみてくださいね。きっと皆さんの良い支えになります。その他、「24時間子供SOSダイヤル」等の窓口で電話で相談することもできます。

また、友達から相談を受けて、自分一人では支えきれないと感じる場合もあると思います。その時は、顔見知りの大人に相談してください（顔が分からないネットの世界では、なりすます人もいるので・・・）。先生方を始め、周りの大人は、皆さんの支えになりたいと心から思っています。辛い時、困った時、一人で苦しまずに、ぜひ声をかけてください。



◆◆ 少し気になる南郷中学校を取り巻く環境について ~今後の改善を目指して~ ◆◆

(1) 南郷中学校は携帯の電波が弱く、携帯電話等が大変つながりにくい環境です。実際携帯に示される電波状況は、棒が1本立っているのが精一杯で、携帯にかかってきた電話が途切れてしまうことが少なくありません。その状況もあまりいいとはいえませんが、地デジも映らないので、特に、大雨・土砂災害等で避難所になったとき、このことが大きな課題になる可能性が高く、改善が望まれます。



(2) 私が一色小学校に勤めていたときには、町の防災無線が、「オレオレ詐欺の電話がかかってきています。」と警戒を呼びかける放送がよく聞こえてきました。しかし、南郷中学校・上ノ山運動公園周辺は、町の防災無線等がほとんど聞こえません。先日のJアラート訓練放送も気付かずに終わってしまいました。南郷中学校周辺は土砂災害に対しては、特に注意を払っておきたい場所です。今の状態では、葉山町に大雨警報が出て、町の防災無線からいち早く情報をゲットすることは不可能です。防災無線がほとんど気にならないことは、授業実施の面からすると不幸中の幸いなものかもしれませんが、やはり、安全確保の観点からは、改善が望まれるところだと考えます。

(3) 雨の日に、生徒が使うバスの運行が滞り、数十分の遅刻を余儀なくされている現状があります。雨の日の家族の送迎に起因する逗子駅周辺に始まる渋滞は、葉山町長柄地区・堀内地区に渋滞範囲が広がるのがよく起こります。つまりバスが遅れてしまうことについては、京急バスさん自体も被害者の立場なので、バス会社さんは責められません。ただ、遅刻にはしませんが、バスの運行遅延が理由で生徒の登校に遅れが生じていることは事実です。昨年度、全国学力学習状況調査を大雨のため開始時刻を遅らせる措置をとったのは、神奈川県内では南郷中学校と箱根の中学校の2校のみだったことが思い返されます。何とか皆様の知恵で、この事態を解消していければいいなと考えています。

(4) 葉桜地区から通う生徒の通学路の改善が望まれます。現在、在校生が使う通学路は、主に④シンデレラ階段と呼ばれる通学路です。通過するのに4分ほどかかる坂道ですが、不審者への警戒を怠ってはいけない道です。さて、昨年度10月に、仙光院さんの墓地の中を通る通学路①を通行禁止にしました。同時に仙光院さんの脇を通る側道②は危険なため、日の出園さんに出る道③は不審者への警戒から通行禁止にしました。そのため、葉桜地区の生徒は、④のシンデレラ階段等を経由して登下校しなければならなくなっています。このかなりの遠回りを解消するため、現在②の側道を通学路に戻す計画を検討しています。仙光院のご住職様からは、②の道の整備改修に際しては、視野を遮っている樹木を伐採するなど協力すると、②の通学路復活に向けて前向きにご支援いただいております。②の道は、階段整備が不十分で、坂道状態の路面のままでは転倒が心配されることと、照明がやや不足している点から、通学路指定ができていません。これらの課題を何とか克服して、通学路として指定できたら良いなと考えています。



左は葉桜側からの側道 中央は②の中間部 (樹木で暗い)
右は②の下側の坂道 (階段でない、濡れると滑りやすい)



(5) 下校時使用する南郷中学校バス停のすぐ裏手が、私有地かつ資材置き場的役割がある中、大雨が降ったとき、土砂崩れを起こす可能性を感じる状況があること。このままではいけないと感じます。

★他にもお気づきのことがありましたら、校長までお伝えください。